

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和7年度 第1回東広島市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和7年6月4日（水）13:30～14:50
開催場所	市民文化センター研修室2
出席者氏名	坂田会長、小坂副会長、市場委員、大石委員、大久保委員、財満委員、坂本委員、住田委員、橋本委員、藤本委員
欠席者氏名	高橋委員、山平委員
事務局職員氏名	産業部 商工労働・女性活躍担当細谷部長 人権男女共同参画課 川内課長、武上係長、河内主査、森岡主任主事
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 議事 <ol style="list-style-type: none"> 議題1 東広島市審議会等委員への女性登用状況について 議題2 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）前期実施計画の取組状況及び男女共同参画推進事業の令和6年度の取組状況について 議題3 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）後期実施計画の取組及び男女共同参画推進事業の令和7年度の実施計画について 3 その他 連絡事項等 4 閉会 5 エスポワール見学会
配付資料	<p>資料1-1 審議会等委員への女性登用状況について</p> <p>資料1-2 地方自治法第202条の3に基づく審議会等の女性の登用状況について</p> <p>資料2 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）前期実施計画の取組状況について</p> <p>資料3 男女共同参画推進事業の令和6年度の取組状況について</p> <p>資料4 第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）後期実施計画の取組について</p> <p>資料5 男女共同参画推進事業の令和7年度の実施計画（案）について</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・計画策定のお礼 ・出席者の確認 ・4月から異動で着任した職員の紹介 ・配付資料の確認
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議題1「審議会等委員への女性登用状況について」について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1-1、資料1-2 説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・委員を依頼する際は、是非女性をと直接依頼されるのか。充て職の場合も、女性をとっているのか。 ・審議委員数は決まっているのか。 ・大規模小売店舗立地審議会の女性委員0人が続いている。女性の意見は絶対必要である。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱の際は、委嘱の2ヶ月前までに当課へ協議があり、達成できていない場合は、理由書の記載を求めているが、これからより一層、充て職がよいのか、審議会で意見をいただける人がよいのか、取組みを強化していく。 ・審議会規則を担当課で定めている。規則を改正すれば、人数の変更は可能である。 ・同じ審議会で女性委員0人の審議会が続いている。 ・専門職に女性がいないという理由で女性に依頼することが難しい。違う立場の人が入ることができないか、当課から積極的に提案する。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この審議会は女性が多いのでとても良い。
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・議題2「第3次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）前期実施計画の取組状況」について、事務局より説明願いたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・資料2、資料3 説明
坂田会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> ・質問や意見があれば伺いたい。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーを扱っている仕事をしているが、知らない事業があった。情報を扱っている私でも知らない情報があるので、市民の方に知られていないのがもったいない。資料3に参加者は書いているが、定員に達しているか、不明であった。定員が分かれば、広報を頑張る必要があると分かるので、定員の記載があればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・①のおしゃべり講座は、1講座につき10人から15人ずつ募集をしていたが、参加人数が35人なので、広報の周知が足りていない。講座の募集期間が短時間となってしまった。開催時期を模索しながら開催している。去年の反省を踏まえて広報活動を強化していこうと考えている。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・プレスネット東広島等に人権男女共同参画課のイベントを掲載しているのか。 ・広報活動をもっと早めにするように。広報に参加してよかったという感想を添えることによりもっと人が集まるのでは。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市の広報に掲載している。 ・プレスネット東広島と連携をさせていただく。
住田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・託児を担当しているが、同じ人が参加している。広報を見る人は見ている。託児の

	ある、なしを確認し、次の講座にも来られている。もっと広報するとたくさんの人に来てもらえる。保育園に入ると来なくなる。その際にもっとよい講座があるとよい。
坂田会長	・SNSは使用しているのか。
事務局	・市民ポータルで情報を掲載しているが、さまざまな情報が掲載されているので見過ごされているのかもしれない。ターゲットを絞っていかなければならない。
橋本委員	・資料の見方で、資料2施策番号6-2セミナー、啓発DVD貸出について「1」となっているが、一人の人が借りたのか。 ・目標があったほうがよい。1回でも実施すれば、達成なのか。具体的なのもあるが、「1」が多く、分かりにくい。
事務局	・貸出があったか、なかったか。件数ではなく、貸出があったかどうかを指標となる。4件で10本貸出となっている。
藤本委員	・目標の達成率は事業課からの数値なのか。良い仕事をされているのに、評価を見るとCとなっている。
事務局	・当課の評価となる。
坂田会長	・それぞれ数字の意味が違う。説明の仕方、整理の仕方、を検討いただきたい。
藤本委員	・担当課から計画が出てきて、目標や実績が出て評価される。その際に、もう少し細かく担当課とのやりとり、事務局の調整があれば評価が変わってくるのではないかな。
事務局	・後期計画策定時には担当課に出向き、これからの5年間の計画について聞取りをし、担当課の思いが分かった。各担当課と連携を密に後期計画では取り組む。
坂田会長(進行)	・議題3「第3次東広島市男女共同参画推進計画(きらきらプラン)後期実施計画の取組及び男女共同参画推進事業の令和7年度の実施計画」について、事務局より説明願いたい。
事務局	・資料4、資料5 説明
坂田会長(進行)	・質問や意見があれば伺いたい。
小坂副会長	・さきほど議題2の施策番号42-1市民生活課の「外国人転入者に対するオリエンテーション、ひろしま国際プラザ多文化共生事業」が目標を下回った理由としてスポーツ交流事業の希望者が減ったとあったが、それはフットサル等のイベントが少なくなったのか。
事務局	・国際プラザでの施設利用希望者が少なかった。その理由として地域の施設を利用する人が増えているのでは、と担当課から回答があった。
小坂副会長	・東広島市では、フットサルコートが新しくなり使いやすくなった。10年以上前だが、以前は、その国の料理を作って売ったりしていた。もっと色々できると思う。今は、色んな国の食べ物、文化を知ろうとする人が多い。集まってきている人に日本の文化、ノウハウや、子育てに困っている人の情報共有ができ、相談先を案内できると思う。スポーツ利用が減っているのは不思議だ。
事務局	・個人で地域の施設を申込されているようである。
小坂副会長	・この近くでも2年前にアジア介護福祉専門学校ができ、そこに教えに行ったことがある。ネパール等の国の人に来て、大変良い子たちである。日本でこういったイベントがあるよ、と教えてあげれば、日本料理の体験講座があったり、そこでコミュ

	<p>ニケーションをとって色々な情報収集することができれば住みやすくなる。広島大学は、情報が多いのでそこで情報共有ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そういった場で周知をしてはどうか。
大石委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国際化推進プランを進めるうえで、外国人との国際交流ということで、11月に国際フェスタを開催している。外国人の方の日常生活での困りごとがあった場合は、コミュニケーションコーナーが市民文化センターの1階にあって、法律相談にのっている。市では、オリエンテーションのガイドブックを配って、外国人市民の困りごとの相談場所の周知を図っている。ホームページや日本人が「やさしい日本語」を使うようにしている。東広島市では、国際化推進プランを作成しているのは是非ご覧いただきたい。国際交流についても取り組んでいるので紹介させていただいた。
橋本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山の取組があるが、今、この領域に力を入れているというものはあるか。 ・この資料で「重点施策」を探すのに時間がかかる。記載の仕方を検討してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・きらきらプランのP50、51ページに施策の体系を掲載している。「重点」と記載しているものが特に力を入れていきたい。それに基づき、目標を掲げている。女性活躍を重点的に取り組まなければならないし、危機管理課で男女共同参画に立った視点での避難所運営講座へ参加し、防災に関する情報配信にも力を入れていきたいところでもある。 ・記載の仕方は改善する。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の女性活躍に関わる研修への講師派遣ということで、これは今年度からか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業への啓発で、取り組みを強化するため「女性活躍」という趣旨で、もし研修を考えているのであれば、講師を派遣する、という取組みを今年度から開始する。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大久保委員、どうですか？
大久保委員	<ul style="list-style-type: none"> ・対象は、女性社員なのか、男性社員なのか。 ・会社の中だけでは難しいので検討したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の経営者の方の意識の啓発が大事である、という視点で男性女性問わず研修をしていきたい。 ・企業が考えている研修内容に合わせて講師を紹介し派遣する。企業民主化経営推進協議会でこの事業のPRをする予定である。今年度は、5社程度を検討している。
市場委員	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの指標について、目指しているという目標で「0」となっている。なかなか難しい。指標について調整させていただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課と話をしながら、11年度まで目標をたてているが、状況に応じて年度ごとに進捗状況を見させていただき、来年度目標の修正についても検討していきたい。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブは、どんどん開所しているが、それでも足りていない。 ・土曜日に開いているところは、遠くでも行くと、聞いたことがある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今、市では民間の参入に力を入れていると聞いている。それでも足りていないと聞いている。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は、待機児童が「0」の目標ですが、現在何人いるかで評価をしていたことがあった。そうすれば、今はここまで、という評価となる。「0」は目標だが、そこは希望に向かって、今はどのあたりにいるのか、という評価ができればよい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は、保育所の待機園児数が「0」となっているが、そのような考えた方でされ

	<p>ていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は、1人でもいれば達成率「0」となってしまう指標となっているので検討する。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成までの道のりが見えるとよい。
藤本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「えるぼし認定」「くるみん認定」について、市内の企業の認定状況について教えてほしい。 ・特定事業主の行動計画の対象の事業主が対象ではあるが、市は対象とならないのか。8社は大企業のイメージでよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「えるぼし認定」は、1社。「くるみん認定」は、8社。 ・市は「くるみん認定」を受けていない ・「くるみん認定」は、8社は、広島大学、病院が2つ。後は市内企業である。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの議事を振り返っての意見や、この議事に関わらない意見でもよいので、いかがでしょうか。
小坂副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・職場の女性から、育児休業を男性が取得しても、逆に仕事が増えるという思いをもっている女性も多くある。男性がきちんと家事をすることが前提の上での育児休業である。それについてアンケートを取ったことがあるのか。ただ、育児休業を増やしましょう、というだけではなく、逆に仕事が増えてしまう、という意見を多くの女性から聞いている。 ・今、「対岸の家事」というドラマをやっているが、男性が育児休暇を取得して、ドラマでは職場でも窮屈な思いもあり、そのあたりの窮屈な思いも見えてきたら面白い。女性が本当に願っているのか、家事の負担が逆に増えるのではないか、見えれば色々な育児休暇の取り方について考え方をできるのではないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・年々男性の育児休暇取得は増加している。数字の上では、それは大変良いことだと評価される。実際、内容が伴っているかどうかで、機会があれば検討する。
坂田会長	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、東広島市でもあつてと思うが、アサーショントレーニングを女性対象とした講座があった。配偶者へ家事をやってください、と伝えたいことをきちんと伝える。自分が我慢して、私がやったほうが早いではなく、やってもらう際、どのように言ったほうがよいか、教えながらどうやるか、そういう講座があった。もしかしたら、そういうのが大事かもしれない。男性向けの家事講座とか、男性の育児休業取得により女性の家事が増えるという結果が明らかとなった場合は、そういう観点の講座が必要かもしれない
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業の参考とする。
坂田会長(進行)	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で審議を終了する。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・閉会(次回は、2月前後開催予定。)
	<p>エスポワール見学会を開催</p>